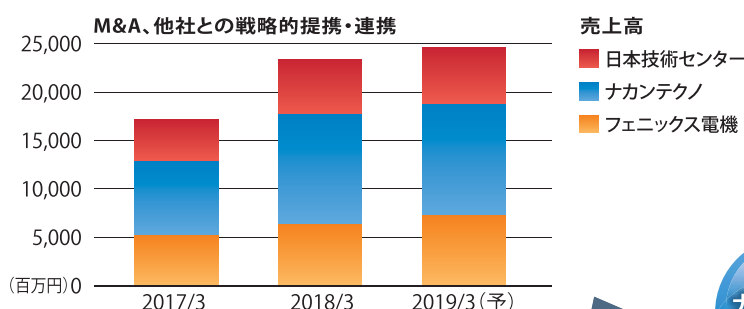


奇跡のV字回復をとげた企業グループ ヘリオス テクノ ホールディング

ヘリオステクノホールディングは、旧フェニックス電機が経営統合や事業譲渡などを経て、2009年に社名変更して誕生。現在は純粋な持株会社で、傘下の事業会社にてランプ事業、製造装置事業、人材サービス事業を展開している。

中期
成長戦略

各グループ企業の事業拡大と採算性向上、 シナジー効果の発揮を目指す。



フェニックス電機(株)のランプ技術、(株)日本技術センターの設計、開発能力、ナカンテクノ(株)の販売力を合わせ、シナジー効果を発揮できる新規事業を開拓する。

製造装置事業



ナカンテクノ株式会社

ランプ事業・製造装置事業



フェニックス電機株式会社

ヘリオス テクノ
ホールディング
株式会社

株式会社
日本技術
センター

人材サービス事業・製造装置事業



Company Story



代表取締役社長 佐藤良久氏

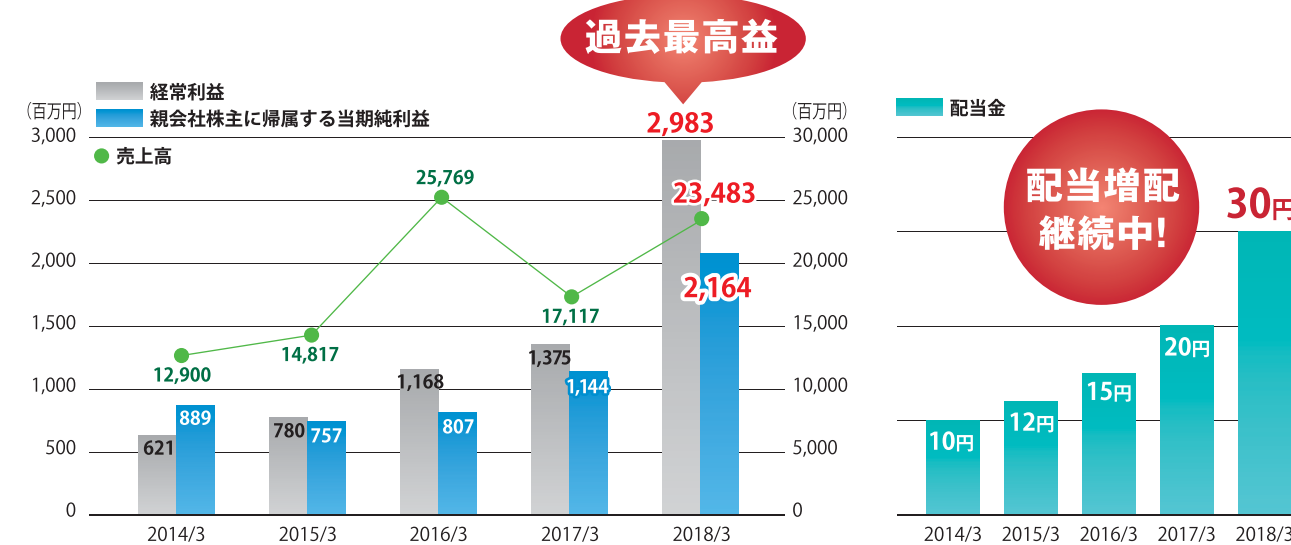
経営破綻からわずか7年で再上場。 時代に合わせて変化成長する永続企業へ

旧フェニックス電機の経営破綻と上場廃止の後、ナムコの故中村会長の白羽の矢を受けて経営トップに就いた齊藤社長によって当時未開のプロジェクターランプ市場に“選択と集中”を行い回復の糸口を見つける。さらに再生計画中に全社員へストックオプションを配分するなど、型破りな手法ながら社員一丸となって再建へ真剣に取り組み、わずか7年で再上場を果たす。その後は異業種統合によって事業分野を拡大し、時代に合わせて変化成長していく永続企業を築く。新社長の*佐藤良久氏(57)は液晶関連装置に精通。今後市場が伸びていく半導体用装置の分野で活躍が期待される。

*2018年6月22日就任予定。

2018年3月期は経常利益が116.9%増(前年同期比)、12期ぶり最高益更新へ。

2018年3月期の決算で連結経常利益は前年同期比約2.16倍の29億8,300万円に急拡大。12期ぶりに過去最高益を更新した。好調の要因は、製造装置事業の売上が急拡大し前年同期と比べて+約55億円と大幅増益したこと。また露光装置用光源ユニット装置でも追加受注を受けて今期中の売り上げに。さらにコストダウンや生産キャパの拡大、生産効率の改善なども貢献した。



株主優待

毎年3月31日現在の株主名簿で

1,000株以上所有の株主に、
地方特産品(2,000円相当)を贈呈

2018年3月末株主優待商品

毎年の
贈呈例

地方特産品シリーズ

その地に行かなければ入手できない高級感のある一品を提供。



「天然鯛めしの素&大和しじみ味噌汁セット」
鯛めしの素
大和しじみ味噌汁(食べるしじみ)

2015年度事例



高知県四万十の
鯉のだし・あゆのだし 2本セット

2016年度事例



静岡県沼津の
匠の味詰め合わせ

2017年度事例



兵庫県三田市「丹波屋」
松茸昆布 松茸佃煮

いくらから買える?
⇒ 94,200円

配当利回り
⇒ 3.18%

株価
942円
配当
30円(19.3予)
30円(18.3)

最低取引株数
100株
市場
東京1部

*配当利回りは、2019年3月期の年間
予想配当30円を使用して算出しています。

ヘリオス テクノ ホールディング株式会社
本社 〒679-2122 兵庫県姫路市豊富町御蔭703

<http://www.heliostec-hd.co.jp>